

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

ひゃくり い もの

百里を行く者は

きゅうじゅうり

九十里を

なか

半ばとす

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

覆水
ふくすい

ぼん
かえ

盆に返らず

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

ぶし
武士は食わねど

たかようじ
高楊枝

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

ほとけつく
仏作って
たましいい
魂入れず

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

ほとけ
かお
仏の顔も三度

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

ほねお ぞん
骨折り損の

もう
くたびれ儲け

月 日

回目

☐ すらすらよめた
☐ なにもみずにいえた

ま
は
たね
蒔かぬ種は
生えぬ

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

ま
待てば
かい
ろ
ひ
より
海路の日和あり

月 日

回目

☐ すらすらよめた
☐ なにもみずにいえた

身 出 た 錆
み で さび

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

魚 うお

住ま ず

清 け ければ

水 みず

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

みごたましい
三つ子の魂
ひやく
百まで

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

みの

実るほど

こうべ

た

頭を垂れる

いなほ

稲穂かな

月 日

回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

身を捨ててこそ
うせ
浮かぶ瀬もあれ

月 日

回目

☐ すらすらよめた
☐ なにもみずにいえた

六日の菖蒲
むいか あやめ
とおか きく
十日の菊

____ 月 ____ 日

____ 回目

- ☐ すらすらよめた
- ☐ なにもみずにいえた

ひ こ
引っ込む

ど っ り
道理

む り と お
無理が通れば